

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

子供たちの安全を守るために 〔お願い〕

いよいよ学校が再開されました。始業式の中で話した通り、感染症だけでなく、災害、事故、事件…子供たちを取り巻く環境には危険が存在いたします。南アルプス市におきましても、昨年度小中学生の交通事故が何件か起きたり、不審者情報がいくつも寄せられたりしています(本校の学区でも、数件あったようです)。日本各地に目を移してみますと、地震や大雨による災害、ブロック塀倒壊による死亡事故、また川崎市における殺傷事件など、悲しい事案が記憶に新しいところです。

そこで、学校が開始された今、子供たちを守るために保護者の皆様に強くお願いしたいことが二点あります。ぜひ、ご理解とご協力をお願いいたします。

① 自転車に乗るときには、ヘルメットをかぶらせてください。

自転車死亡事故における6割が頭部の損傷です。着用努力義務でもあります。よろしくをお願いいたします。

② 保護者の皆様には「百田みまもりたい」のたすき着用をお願いいたします。

本校では以前からも募集してきている取組ですが、なかなか思うように増えてきていません。昨年度より青少年育成市民会議からのバックアップもあり、市内全体へと広がっていきこうという活動になっております。見守り活動によって、不審者情報や事件が大幅に減ったという報告が聞かれる地域もあります。ぜひ本校でもさらに活発化させ、少しでも事件の未然防止につなげたいと考えます。そこで家庭数で一本ずつたすきを配布いたしますので、学校へ来るとき、買い物に行くとき、散歩するとき…いろんな場面のちよっとしたときにつけていただきたいと思います。あわせて、募集チラシも配布いたします。ぜひ、おじいちゃん・おばあちゃん、ご近所の皆さんにも呼び掛けてください。

肩かけて 地域歩いて
みまもりたい

～見守りたすきをつけてわが子、地域の子を守る～
白根百田小が広げている活動です。
地域の皆様も、ぜひご協力ください。

日頃より本校の教育活動に多大なご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。
さて、本校では子どもの安全を確保するために、これまでも保護者や地域の皆さまのご協力を頂きながら、『百田みまもりたすき』を肩にかけ、子ども達を見守る取組を行っております。この取組は昨年度より青少年育成市民会議のバックアップを受け、南アルプス市全体へと広がっていきこうという活動となっております。百田小児童の安全のため、ぜひお力添えをお願いいたします。
つきましては、ご協力いただける方は、連絡先をお書きいただき、お近くの白根百田小学校に子どもが通う保護者、あるいは直接 PTA 事務局(教頭)にお渡しください。たすき(百田みまもりたい)をお渡します。

特に決まりごとがあるわけではありません。

決まった時間ではなく、自分が近所に歩いて出かける時や、犬の散歩、畑仕事などの時に、たすき(百田みまもりたい)を付けてください。 百田小・教頭(大原)055-285-3766

5月の歌

バンザイの 姿勢で眠り いる吾子(あこ)よ
そうだバンザイ 生まれてバンザイ 〔俵 真智〕

※バンザイをしている姿勢で眠っているわが子よ。そうだバンザイ、生まれてバンザイだよ。

苦しい時こそ、笑ってみませんか

誰でも、無邪気な赤ちゃんの笑顔を見ると、思わずほほえんでしまうことでしょう。京都の広隆寺に安置されている半跏思惟像（弥勒菩薩）や奈良県秋篠寺にある伎芸天の笑顔にも、吸い込まれてしまいそうな魅力があります。どちらもステキな表情で、見ている者の心をしっかりとつかみます。実は、仏像のモデルは赤ちゃんの表情を写したものだという説があるくらいなのです。さらに、真夏のひまわり畑に行くと、何かすがすがしい気持ちになりませんか？きっとそれは、明るいひまわりがこちらを向いていっせいに笑いかけているように思えるからではないでしょうか。



中国に「一笑一若，一怒一老」という言葉があります。人間は一度笑うとそれだけ分若返り，一度怒るとそれだけ分老けるといふものです。[みなさん、若さのために十分笑っていますか？](#) どうやら笑いというものは体内のホルモンの分泌を促すものらしいのです。その証拠に、我々は気分が悪い時や調子のおかしい時には笑いませんね。ガン患者に落語を聴かせて、直後に免疫力を測定したら、みんなアップしていたという研究報告もあるくらいです。ストレス学説を創始したH・セリエも、笑いの重要性を強調した人です。彼の有名な言葉に「[悲しいから泣くのではない。泣くから悲しいのだ。](#)」というのがあります。笑いもまったく同じではないでしょうか。「[おかしいから笑うのではない。笑うからおかしくなるのだ。](#)」と。案外これは人生の極意かも。



人間は誰でも、少なからず心の中に苦しみ、悩み、辛さがあります。あるいはどんなに健康そうな人でも仔細に検査をすればどこか不健全な部分があるものです。私など、日々の家庭生活に苦しみ、人間ドックではいくつも引っかかり。でも、そのような精神的なマイナス、肉体的な不調をあえて顔に出さないことが、大切なのではないのでしょうか。（もちろん体の悪い所は早く治さなければなりません。）

時々是我が子の幼児の時の写真でも見て、気持ちを新たにされることもいいことだと思います。腹の立つことも、情けないことも、悔しい時もあります。でも人生はいつも自分の思い通りにいくとは限らないと、その写真は私達に教えてくれことでしょう。そして、それが明日への力となってくれることでしょう。まだまだ大変な日々が続いていくと思われませんが、そう信じて、この一年、大いに笑って過ごそうではありませんか。そして、できるだけ笑顔で子供たちに接していきましょう。

----- 切り取り線 -----
【ご意見がありましたら校長までお願いします】